

お盆号

発行所 普門山 林泉寺
三戸町斗内字 寺牛25
〇一七九
二五―二八五〇
啓誠

今度は“県立郷土館”に展示される事に 大忙しの仏像達?!

4月25日から5月31日まで、三戸町立歴史民俗資料館で、「木彫像展―祈り・死生観―」が開催されました。檀家の皆さんには、ハガキでご案内致しましたのでご覧になった方もいるかと思えます。町内3ヶ寺の仏像が展示になり、我が林泉寺からも47体が展示されました。

今まで本堂の片隅の、誰の目にも止まらない場所にギンシリ閉じ込められていた仏像達でしたので、最初は緊張気味で、強ばった顔をしていましたが、中盤ごろからキリリとした顔立ちで頼もしく見えました。休む暇もなく、今度は8月28日から10月12日迄開催される平成21年度 青森県立郷土館 特別展



三戸歴史民俗資料館 展示風景

「妖怪―神・もののけ・祈り―」に10体出張展示する事になりました。伝説や昔話に登場する妖怪や化物たちが、元来は、零落した古い神々や、土地ごとの鬼神、疫神等の荒ぶる神々、自然の怪異、生と死への不安などといった、未知なる異界への恐怖、畏怖をベースに熟成されていった存在であると考え、妖怪と青森県内における異界の所相を探る為の展示だそう。時間のある方はぜひどうぞ。

初盆を迎える

身内の人が亡くなった後最初に迎えるお盆を初盆、または新盆といいますが、新盆は、にいぼん、あらぼん、しんぼんのいずれにも読みます。

では初盆を迎えるのはいつか、という問題になりますが、一般に四十九日の忌明け前(中陰の間)

にお盆を迎えた場合は、新盆は翌年になります。また地方によっては百か日までお盆を新盆とする所もあります。

これは特に四十九日の間は、故人がまだ零位として定まっていなると考えるためです。

施食会のご案内

八月十四日(金曜日)

午前十一時より

当寺本堂に於いてお勤めします。

供養料

一千円

同封の申し込み用紙にお名前を記入し

供養料を添えて

当日本堂受付まで

お持ちください。

※尚、当日お出でになれない方は

前もつて、随時受付いたしますので、どうぞお申し込みください。

今年の初盆の方



平成二十年 六月二十六日より

平成二十一年 六月二十五日まで

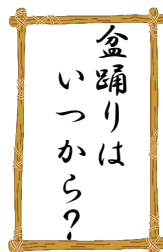
逝去された方です。

〈お盆(八月十三日)までに四十九日を終えられた零位です〉



〈迎え火や亡父に
出逢えし夢の中〉

ご家族揃って
御参り下さい。



盆踊りは、盆に招かれた精霊を慰め、無縁仏や餓鬼を送る踊りであるといわれます。



そのルーツは、一遍上人の布教により、室町初期から、男女が群れをなして念仏を唱えながら踊る念仏踊りとなって流行し、後には念仏だけでなく、新しいおどりや歌も作られ、民謡踊りに転化したといわれています。



「典座教訓」に学ぶ(1)



「五観の偈」 食事のお経

これから、シリーズで、お経・偈文などの意味を少しずつ解説していききたいと思います。

まず最初に、我が曹洞宗の開祖道元禪師が説かれた「典座教訓」という、食事を作る人の心得が書かれたものと、「起

粥飯法」という食事の際の心得を書かれたものがあります。この中で何度も示されていることは、「一粒の米、一滴の水をも大切に扱いなさい」ということが書かれています。物の大切さ、有難さを伝えたかったの

でしょう。

一つには、自分にはどれだけの功績があつてこの食事がえられたものであるか、また、いま口に入れているご飯などが、こうしていただくまでに、いかに多くの手数や苦勞があつたかを深く考え感謝していただきます。

今私たちがここにこうして生きていることは、日常の食事に出される肉や魚も、

結局のところは我々人間が生きた動植物のいのちをいただきたい

「命をいただく」 食が変わる 大転換 実感

内容としては、野菜や魚と違い表に出ることの少なかつた食肉の生産過程を見せる事によって食の安全、残酷な場面に戸惑うことがあつても現場を知り、肉を食べる事によつてその「命をいただく」という内容でした。

「五観の偈」
一つには功の多少を計り、かの来処を量る
二つはおのれが徳行の全欠を付て供に応ず
三つは心を防ぎ過を離るることは貧等を宗とす
四つはまさに良薬を事とするは形枯を療ぜんがためなり
五つは成道のための故に今この食を受く



「いただきます」そして「ごちそうさまです」と感謝し、

いのちを尊ぶところを忘れたら「人」の食事とは言えないのではないのでしょうか。この斗内地区、近郊にも食肉処理場が何カ所かあります、痛感させられます。



こんな風景に出会いました。この写真は、八戸斎場の従業員の休憩室にある電話なのですが、内線電話だと思ふのですが、なんと変。従業員が増えてきたからロッカーも増えてこうなった



のかは解らないが、どうやって電話しますか。はずすのが面

倒だったのかは解りませんが、これじゃあ電話も

デレングラ ですね と、挟まって

みなさんも、こういうおもしろいとか、不思議だなとか、これは是非みなさんに紹介したいとか、い

ろいろありましたら、お知らせ下さい。この「林泉寺だより」の新聞に載せたいとおもいます。

「寺檀一如」のもと、続けて行きたいと思つておりますので、宜しくお願い致します。

Illustration of a branch with leaves and a box containing text: (編集後記) 暑いんだか、寒いんだかよく分からない不順な天候が続きます。十何年前の冷夏と同じ天候らしいです、さて、知らない方もあるかと思ひますのでお知らせ致します。私達飯原家は、今年の春彼岸に八戸より完全に引越して来ました。三戸町の人口が三人増えたことになりました。今後は不便をかける事が無いと思ひますのでよろしくお願いいたします。 小坊